

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	花うさぎ		
○保護者評価実施期間	R7年1月6日		～ R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 21人(兄弟家族含)
○従業者評価実施期間	R7年1月15日		～ R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定しないように工夫している。	日々の活動について、各職員のアイデアにより、個別・集団療育を実施している。学校休日の日は外出・食育等を実施し社会性の習得や食育に力を入れている。	固定しないように工夫しているが、他の事業所の情報も取り入れながら充実を図りたい。
2	日頃より子どもの状況を保護者の方と共有している。	連絡ノートや電話等にて密に連絡をしている。インスタグラムで日々の活動をアップしている。	今後は定期的におたより等の発行を視野にいれていきたい。
3	保護者の方々が安心して仕事ができるように学校休日は8時～18時00分まで開所し延長利用ができる。	この時間帯柔軟に利用できるようにしている。	送迎には職員が必要なので、職員確保に努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基準以上の広さを確保しているも一部の活動スペースが限られている。	各部屋を使用する為にはプログラムを実施する職員が不足。	各部屋で活動できるように小集団の活動の取り組みを検討。職員増。
2	職員の配置数や専門性の充実が必要。	基準以上の職員配置はしているが、子どもたちの安全確保や個々のプログラムを実施するためには職員増が必要である。	専門性のある職員確保等に努めていく。
3	職員の質の向上。(外部研修の参加)	基準以上の職員を配置していても、送迎等で職員が必要となるため、外部研修への参加が少ない。	職員の質的向上を図るためにも職員数の増員を図っていく。